

《担当者名》濱田 淳一 jun1hamada@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

感染症の原因となる微生物の特徴、種々の微生物によって引き起こされる感染症の病態を学習し、これらの感染症に対する治療法、予防法を学習する。

【学修目標】

感染症の原因となる微生物の特徴、感染症の病態を説明し、治療法や予防法を説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	微生物と感染症 1	・微生物の発見の歴史を学ぶ。 ・微生物の分類と特徴を理解する。	濱田
2	微生物と感染症 2	感染症の一般的な経過、感染源、感染経路について理解する。	濱田
3	感染免疫	感染に対する免疫機構を理解する。	濱田
4	感染症の制御	ワクチン、抗菌薬・抗ウイルス薬、滅菌・消毒について理解する。	濱田
5	呼吸器系感染症 1	感冒、インフルエンザ、伝染性単核症、細菌性肺炎について理解する。	濱田
6	呼吸器系感染症 2	肺結核、百日咳、新型コロナウイルス感染症について理解する。	濱田
7	消化器系感染症 1	虫垂炎、胆嚢・胆管炎、ウイルス性肝炎について理解する。	濱田
8	消化器系感染症 2	食中毒、細菌性・原虫性腸管感染症、アニサキス症について理解する。	濱田
9	性行為感染症	性器クラミジア感染症、淋菌感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、子宮頸がん、梅毒、エイズについて理解する。	濱田
10	尿路感染症	尿道炎、膀胱炎、腎盂腎炎について理解する。	濱田
11	中枢神経系感染症	ウイルス性脳炎、髄膜炎について理解する。	濱田
12	循環器系感染症・感覚器系感染症	感染性心内膜炎、菌血症、副鼻腔炎、中耳炎、結膜炎、流行性耳下腺炎について理解する。	濱田
13	全身性感染症	ジフテリア、破傷風、劇症型溶血性レンサ球菌感染症、麻疹、風疹、伝染性紅斑、手足口病、水痘・带状疱疹、敗血症について理解する。	濱田
14	皮膚・軟部組織の感染症	伝染性膿痂疹、丹毒、毛囊炎、蜂窩織炎、皮膚真菌症、疥癬について理解する。	濱田
15	医療関連感染症など	移植と感染症、手術創・外傷と感染症、人獣共通感染症、輸入感染症、感染がんについて理解する。	濱田

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

試験（100％）

【教科書】

増澤俊幸著「感染制御の基本がわかる 微生物学・免疫学」羊土社

【備考】

Google Classroomを利用して学習資料などを提示する。授業ごとに小テストをGoogle Formを用いて実施するとともに出席状況を管理する。

【学修の準備】

- ・ 次回の授業範囲を教科書で熟読した上で疑問点を整理しておくこと（30分）。
- ・ 講義終了後は、配布プリントを見直すとともに復習問題がある場合は次回までに解いておくこと（30分）。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2：看護専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している